

34 頁 問 2. の (c)

$$y = (-4, -3, -3, -4)$$

102 頁 回帰値と残差が逆でした。

120 頁 丁度中央部分，

「自由度が $(n-K+1)$ の t 分布」 は 「自由度が $(n-K)$ の t 分布」
です。

127 頁 4 行目 (4.11) は (4.12) でした。

149 頁 問 4，巻末のデータは，118 頁のデータでした。

152 頁 (4.82) 式，一行目右端の $\hat{\beta}_K$ ，二行目左端の $\hat{\beta}_K$ ，三行目左端の $\hat{\beta}_K$ ，
は除いてください。

158 頁 下から 6 行目は， u_{t-1} でなくて u_{t-j} です。

183 頁 問 2 問題文最後の括弧内

「2.1 と推定結果が同じになる。ここでは最小 2 乗推定の結果も一致する」
というコメントは間違いでした。

183 頁 問 3， 3.4 括弧の中「3.3 と 3.4」は「3.2 と 3.3」でした。

246 頁 下から 9 行目の右端， $1/9$ は $2/9$ です。

254 頁 上から 6 行目 $V(V)$ は $V(X)$ でした。

261 頁 表 7-1 は， X と Y が逆です。

277 頁 (2.56) 式の二行下「求める」です。

286 頁 問 5 と問 8 は同じ問題でした。問 8 では，

「同時確率関数を導きなさい」を「同時確率関数を，観測個数を 3 として導きなさい」に変更する。最後の「(観測個数を 3 として，同じ計算を試みよう。)」
を除く。

281 頁 (7.73) 式

右辺全体を平方根に入れる。

54 頁 二行目 「一般的には」を「離散確率変数の場合では」に変更する。

55 頁 下から 5 行目 「 t 値」を「(2.31) 式で定義された t 値」とする。

263 頁 最終行 「必然的に」を除く。

280 頁 6 行

「 c_i を既知の係数として， β_K の任意の線形推定量を b とすれば」を

「 β_K の任意の線形推定量 b とは， c_i を既知の係数として」

さらに式 (7.65) の下

「と表現される。さらに， b は不偏推定量でないといけないから，期待値は」を

「と表現される事を言う。さらに， b は不偏でないといけないから，期待値は」
に変える。